



一橋大学で MBA 取得を目指します!

私、佐久間翔一は、一橋大学大学院経営管理研究科に合格し、2022年4月より入学することとなりました。今後2年間、平日夜間の授業に出席し、MBA (Master of Business Administration) 取得を目指します。



出典：一橋大学ビジネススクール HP より

MBA 取得を目指す 2つの理由

私が大学院受験を考えた理由は2つあります。

1つ目は今までの勤による経営からの脱却です。皆様の有難いご支援のもと、弊所も私を含め9名にまで拡大できました。そこで、今後は経営戦略や内部の組織構成を本気で考えていかなければいけないと思いました。理論通りに経営をすればすべてうまくいくものではないと思いますが、判断に迷ったとき、後々自己評価するとき、新しいことにチャレンジをするときなどに大学院で学んだ理論を振り所にできればと考えています。

2つ目は日本の運送業界を世界水準にするお手伝いをしたいという想いです。これまで特殊車両通行許可申請という分野のみで運送業界を見てきましたが、皆様のお話を伺い運送業界を知れば知るほど、世の中になくはない重要な社会インフラであるという認識が芽生えました。そこで、この重要な社会インフラを世界水準の収益性・効率性に高め、運送業界ひいては日本の国力増強の一助となれればと考えています。

大学院入学後は日本の運送業界の課題、諸外国での最新の取組等を学び、DXを中心とした新しいビジネスにまで昇華させ、日本の運送業界に貢献したいと考えています。

最新
news

特車許可を条件に臨時の 活動拠点設置が可能

今年1月より、建設現場に超大型貨物を搬入する場合に、既存営業所以外に臨時の活動拠点を設置することを特例的に認める制度が創設されました。

ポイント

建設現場への超大型貨物の運送に使用する車両を臨時的に他の場所に移すことができます。臨時拠点設置では、原則として事前に臨時の活動拠点を管轄する運輸支局への届出が必要です。

国土省は、建設現場に建設資材を搬入する超大型車両に対して臨時活動拠点を設置することを認める新制度を発表しました。これは建設工事の現場が山間部・海岸線などの僻地に立地する場合があり、既存の営業所から発着すると、利便性が悪いという事情を鑑みてできた制度です。この臨時活動拠点を設置する場合、事前に運輸支局への届出が必須となります(令和4年1月26日より運用開始)。

弊所では当該届出様式を入手し、届出の際の重要事項5点をまとめました。

① 運行管理者と整備管理者を配置

臨時活動拠点には運行管理者と整備管理者の配置が必要となります。当該臨時活動拠点に配置する運行管理者・整備管理者は既存営業所との兼務ができませんので、新たに選任しなければなりません。

② 臨時活動拠点の休憩・睡眠施設および車両置場の図面又は写真が必要

届出の添付書類として、臨時活動

拠点の休憩・睡眠施設および車両置場の図面又は写真が必要となります。添付書類の作成に関しては、運送事業者にとって大きな負担がかかる作業と憂慮しています。

③ 特殊車両通行許可証取得後に申請

届出の添付資料として、特殊車両通行許可証が必要となります。特車の許可を取得してからでないとい回の届出はできないので気を付けなければいけません。

④ 廃止届出の提出が必要

臨時活動拠点の撤去後も廃止届出を提出する必要があります。設置、変更、廃止の段階での届出の義務があることに留意しなくてはなりません。

⑤ 設置期間は6カ月以内

設置期間は、建設工事に要する期間、原則6カ月以内に限定されます。添付書類に建設工事の概要が分かる書類を求めていくことから、この資料に則った臨時拠点設置期間を設定する必要があります。

佐久間の私見!

今回の臨時拠点設置届出に関して、運送事業者にとって一番厳しい内容となるのは運行管理者・整備管理者の設置義務だと考えています。多くの中小運送事業者は、運行管理者・整備管理者をギリギリの人数で回しており、臨時拠点への配置は難しいと考えられます。また、仮に運行管理者・整備管理者の資格保有者が社内にはいたとしても、これまで実務を任されていた有資格者に対して運行管理・整備管理を臨時拠点で任せていくというのは酷な話です。この新制度を利用する可能性がある運送事業者は、運行管理者・整備管理者の有資格者を日常業務に要する人員以上に抱え、日常業務のなかで運行管理・整備管理業務に携わらせることが必要となります。



「運ぶ」だけでなく トータルに物流提案を行う企業

株式会社フコックス 代表取締役 ^{しずめ} 鎮目隆雄 様

佐久間 まず、御社の歴史を教えてください。

鎮目 祖父が起業した富国運輸(株)が会社の起源となっています。富国セメント(株)(現住友大阪セメント)の輸送部隊として生コン等を運んでいました。元々は生コン輸送が主力でしたが、現在はセメントを使用する際に地盤を固める固化材輸送に力を入れています。当時は運ぶだけではなく、セメントを運ぶための車両をメーカーと協力して制作するところからやっていたので、セメントと共に歩んだ85年と言えます。

佐久間 フコックスの社名は富国から来ているんですね。国を富ますとはカッコいいですね！お国のために尽くすといった感じですね。

鎮目 父はシベリア抑留を経験し、最終便で舞鶴港に帰ってきました。現地では大変苦労したみたいでしたね。

佐久間 なるほど。私も山崎豊子の『不毛地帯』で、シベリア抑留時代の生活状況は読んだことがあります。是非お父様に当時の話を聞いてみたかったです。戦前からある御社ですが、他社と比べて大きな特徴があったからこそ長い歴史を歩んでこられたのだと思います。御社の特徴を教えてください。

鎮目 セメント輸送を85年間続けてきたので、セメント輸送に強みがあると言えます。また、創業当時から「運ぶ」ことだけではなく、お客様のためにトータルに物流を考えてきたので、社内に3PLの意識が根付いている点も特徴です。現在はセメント輸送から学んだ経験を基に3PL事業に力を入れています。各工程での徹底的な品質管理と現場力により、お客様の製品に付加価値をつける、これがフコックスの考える3PLです。たとえば、食品事業では、物流という強みに加え、仕入～製造・加工～管理～配送まで流通サービスを含めた最適なお提案をお客様に行い事業を拡大することができました。食品の加工・包装業務では委託先から厳しい品質管理のテストを受けることになりましたが、お客様の要

望に一つ一つ応えていった結果として今があると考えています。

佐久間 「運ぶ」だけではなく、トータルに物流提案を行えるところこそ、御社がお客様に支持されている所以なのですね。納得です。そんな順調な御社ですが、経営を続けてきたからこそ課題はあったはずですよ。どのような課題に対して、いかに対処したのか是非教えてください。

鎮目 1つ目の課題は新型コロナウイルス感染症の拡大への対応です。土産物を中心に食品加工、包装等を行っていたため、コロナの影響で大きな打撃を受けました。そこで、今はお客様と一緒にEC分野への進出を検討しています。お客様と一緒に考えていくという姿勢を大事にしています。

佐久間 コロナの影響はやはり大きいですね。新たな販路拡大まで提案いただけるのはお客様にとっても嬉しいことだと思います。

鎮目 2つ目の課題は運賃交渉です。原価の把握に努め、適正運賃の交渉を行っています。ここをしっかりとっていくことで運送業界全体への影響もあると考えております。やはり、運送のコストがいくらかかかっていて運賃を受け取ることによっていくらか利益が出るのかという正確な把握が必要です。

佐久間 運賃交渉は多くの運送事業者の悩みでもありますね。原価計算の把握によって是非実現してもらいたいです。御社のような影響力のある会社が動けば、業界全体に良い影響が広がると思います。

鎮目 3つ目の課題は人材不足です。ドライバーは担い手が少なく、どこの運送会社も困っていると思います。弊社ではなるべくドライバーの方に長く働いていただきたいと考え、社員の健康管理に力を入れています。健康優良企業の認証も取得し、社員の健康を大切にしています。

佐久間 ドライバーの仕事は長時間に渡ることもあるので健康が気になる場所です。会社が社員の健康について真面目に考えてくれればドラ



PROFILE 1956年9月21日生まれ、O型。成蹊大学経営学部経営学科卒。1992年より株式会社フコックス代表取締役

イバーも働きやすくなると思います。ドライバーの確保に関してですが、遠くない未来に自動運転が実現されるかもしれません。そこに関しては、どのようなご意見をお持ちですか。

鎮目 私自身ドライバーの仕事はなくなることはないと考えています。ただ役割が変わると思います。単に物を運ぶだけではなく、お客様対応も今以上に求められるでしょう。ドライバーのお客様対応力という点がこれからは大切になってくると思います。

佐久間 ドライバーではなく、セールスドライバーという考え方ですね。納得です。今日は貴重なお時間をいただき有難うございました。

取材後記

鎮目社長から感じたのは『物を運ぶだけでは終わらせない』という強い想いでした。輸送依頼を受けて運ぶだけではなく、お客様の立場に立った積極的な提案、これこそ株式会社フコックスの強みだと思います。インタビュー後に鎮目社長は「大それたことを言ったけど、まだまだ挑戦段階ですよ」とおっしゃっていましたが、その謙遜した姿勢にも鎮目社長の人柄がにじみ出ていました。東京都トラック協会の副会長という立場からも、自社だけでなくこれからの運送会社のあるべき姿を考えていらっしゃると感じました。運送業界発展のため、是非鎮目社長のような方に行動を起こしていただき、明るい運送業界を切り拓いていただきたいです。社名の由来通り国を富ます可能性を大きく感じました。(佐久間)